

山口県発着貨物のモーダルシフト促進

協議会名:やまぐち物流モーダルシフト推進協議会

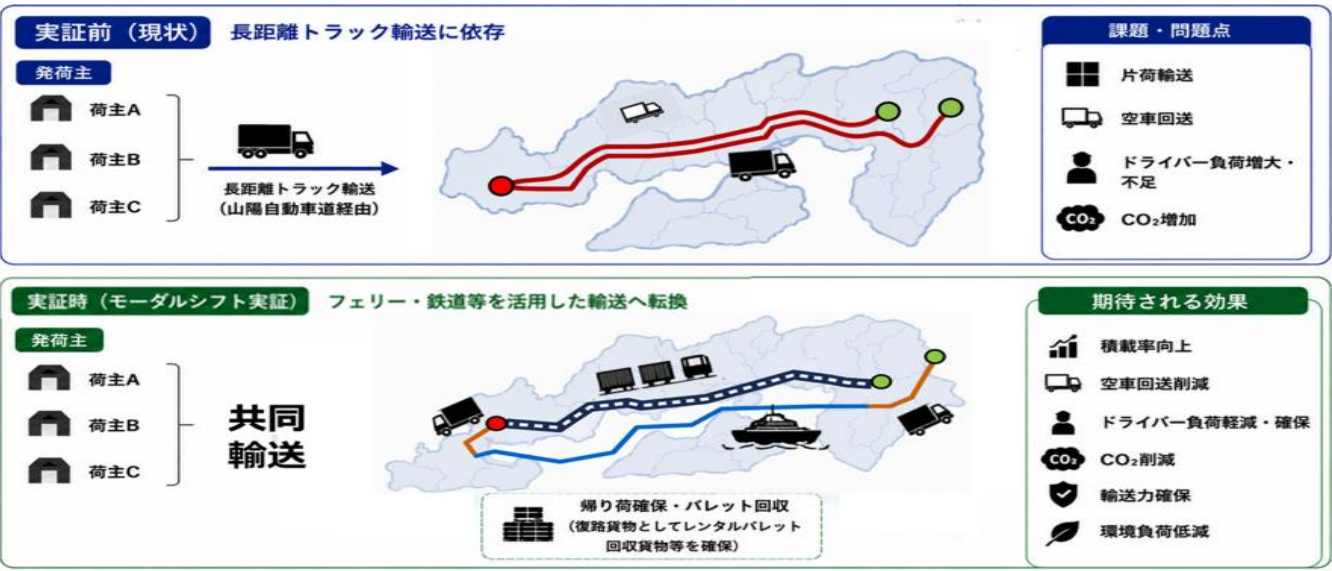
協議会構成員

関光ロジNEXT株式会社、山口県、JR貨物ロジ・ソリューションズ株式会社、
チタン工業株式会社、日本パレットレンタル株式会社、ユーピーアール株式会社、
ヤマトリース株式会社(順不同)

【事業実施背景】
山口県は九州と本州を結ぶ物流結節点であり、長距離トラック輸送が集中している。課題である、物流の2024年問題やドライバー不足、脱炭素化への対応のため、フェリー無人航送を活用したモーダルシフト、共同輸送及び帰り荷確保に取り組み、輸送力確保、物流効率化及びCO₂排出量削減を図る。

事業内容

Point  山口県発着貨物を対象に、フェリー無人航送を活用したモーダルシフト実証を実施する。共同輸送や帰り荷確保等により物流効率化を図るとともに、セミナーや協議会を通じて効果検証と課題整理を行い、2027年度以降の実運用化および地域展開を目指す。



想定事業実施効果

【事業実施による効果および目標】
○山口県発着貨物を対象に、フェリー・鉄道等を活用したモーダルシフトを実施し、その有効性を検証。物流の2024年問題や脱炭素化に資する輸送モデルを確立。
○モーダルシフトによる効果は、環境、輸送効率、労働の3つの観点から、下表のKPIにて計測。

CO ₂ 排出量	30%削減
平均積載 (平均積載重量の改善率)	16%ポイント向上
ドライバーの平均拘束時間	改善基準告示※1適合率 50%以上

※1拘束時間13時間以内・休息时间11時間以上